

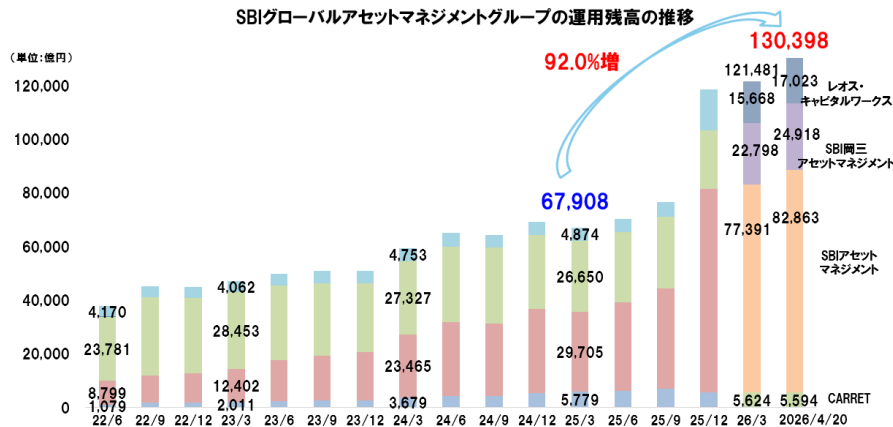
各位

会社名 SBIグローバルアセットマネジメント株式会社  
 (コード番号 4765)  
 (上場取引所 東京証券取引所 プライム市場)  
 代表者 代表取締役社長 朝倉 智也  
 開示責任者 常務執行役員 CFO 小笠原 靖行

**SBI グローバルアセットマネジメントグループの運用残高が 13 兆円を突破  
 ～2026年1月の12兆円達成から3か月強で1兆円積み増し、加速する成長の勢い～**

SBI グローバルアセットマネジメント株式会社（代表取締役社長：朝倉 智也、東証プライム上場：4765）は、傘下のSBIアセットマネジメント株式会社、SBI岡三アセットマネジメント株式会社、レオス・キャピタルワークス株式会社、および米国 Carret Asset Management LLC の4社合算による運用資産残高が、2026年4月20日に13兆円を突破したことをお知らせいたします。

2026年1月7日に12兆円を達成してからわずか3か月強で1兆円を積み増したことは、当社グループへの旺盛な資金流入の継続を示すものであり、成長が一層加速していることを示しています。



**◆業界上位の地位を確立、国内公募株式アクティブでも存在感**

投信会社の純資産残高ランキング（公募+私募）において、グループ3社合算で業界9位にランクイン<sup>※1</sup>。公募国内株式アクティブファンド純資産残高では2026年4月20日時点で業界2位<sup>※2</sup>を達成し、インデックス・アクティブの両分野で日本最高水準の存在感を示しています。

**◆3社の異なる強みが融合した「次世代運用グループ」体制**

2025年にはグループ再編により新体制が整いました。低コスト・高品質なファンドを提供するSBIアセットマネジメント、最先端テーマをアクティブとしていち早く商品化するSBI岡三アセットマネジメント、国内株式アクティブで業界最大規模の運用実績を誇るレオス・キャピタルワークスの3社の総合力が、今日の急成長を牽引しています。

**◆海外の有力運用会社との合弁会社を通じた先進的商品の提供**

英国 Man Group、米国 KKR など世界有数のオルタナティブ運用会社とのパートナーシップを通じ、トップクラスの運用戦略を公募投資信託として小口化し、幅広く多くの投資家へ提供してまいりました。今後はデジタル資産運用分野の開発も、パートナーと共同して展開していく計画です。

当社グループは引き続き「顧客中心主義」を貫き、日本および世界の投資家の皆さまの最適な資産形成に貢献し、残高 20 兆円、そしてその先へと力強く前進してまいります。

以上

※1 出所：資産運用業協会（運用会社別総合計純資産額）、公募及び私募投信の合計値。2026年3月末データ。

※2 DC、SMA、ETFは除く。出所：ウエルスアドバイザーの2026年4月20日のデータを基にSBIアセット調査。

\*\*\*【本件に関するお問い合わせ先】\*\*\*

SBIグローバルアセットマネジメント株式会社 管理本部 電話:03(6229)0812 メールアドレス: sbigam@sbiglobalam.co.jp

SBIアセットマネジメント株式会社 商品企画部 電話:03(6229)0170

(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第311号、加入協会：一般社団法人資産運用業協会)